

# イブニング サロンNEWS

イブニングサロン公式サイト

<http://www.innovationpartners.jp/nonagase/evening.htm>

発行

イブニングサロンNEWS」を発行する会  
事務局・東方通信社  
TEL: 03-3518-8844



最先端設備がそろう同社工場

奥羽山脈や北上山地という大自然に囲まれた岩手県北上市。この地には金型関連の企業が集積しており、中には世界的な技術レベルを持つ企業もある。株式会社ベストがそのひとつだ。

同社はデジタルカメラ、DVD、携帯電話などに使われる精密部品や超精密金型などを生産している。そのほか「高細密六角ナット」といった自社製品も生産しており、今では同社のベストセラーになっている。

## (株)ベスト

## 北上から世界へ羽ばたく 金型のオンリーワン企業

4月22日(水)、第22回目の「新都心イブニングサロン」が開催される。今回のテーマは「金型技術」。電子機器の小型化により、金型もますます精密なものになっている。精密化を実現するためには最先端技術に加え、熟練工のワザがモノがいう。アナログとデジタルが上手に融合してこそ、金型産業は進化するのではない。今号ではまさに金型のトップランナーたちを紹介したい。

# モノづくり立国ニッポンを支える 金型産業の底力!!

六角ナットは、従来の切削加工では、精密化に限界があったが、同社は世界ではじめて微細レベルでのプレス加工に成功した。常温で金属に圧力をかけ、金型に添って加工する「冷間鍛造法」により、外形寸法わずか0.03ミリの以内の高細密六角ナットを完成させたのだ。この製品の登場で電子機器のさらなる小型化に弾みがついたという。

ちなみにこの六角ナットは、完成までに1年半もの月日を要したが、藤原澄夫社長は「困難なニーズでも辛抱強く取り組むのが同社のモットー。最後までやり遂げるからこそ、高い技術が生まれるのです」と胸を張る。こうした姿勢と高い完成度が顧客の信用を集め、今では設計も含めたトータル的な要求が増えているという。

そうした実績が認められ、07年には、経済産業大臣より「感謝状」が



同社のオンリーワン製品、高細密六角ナット

授与された。北上から世界へ羽ばたく「スター企業」として輝いている。

本社・〒024-0013  
岩手県北上市藤沢3地割179-1  
TEL0197-68-4431  
<http://www.best-mold.co.jp/>

# 熟練工と最先端CADで 超微細加工を実現

## 池上金型工業(株)

スピーカーや空調機器のように微細孔が大量にある製品の金型設計には高い技術を要する。池上金型工業は、こうした特殊な金型設計を得意としており、家電から自動車、医療機器、食品容器に至るまであらゆる分野の金型設計を手がけている。

とくに射出圧を加えて型に押し込み成形する「プラスチック射出成型」を主としており、比較的低い温度(180〜450℃)で高圧成形するのが特徴だ。

ちなみに同社では、顧客のあらゆるニーズに対応できるようにCADや機械環境を整えている。そのため、難易度の高い要求でも短納期の完成を実現している。とくに、スピーカーグリル等を使用される微細孔一体の大型金型や大型薄型テレビの筐体用金型を短納期で生産できる企業はほとんどなく、同社は数少ない高レベルの金型メーカーとなつ



同社の池上正信  
社長



あらゆるニーズに対応できるよう機械設備を充実させている

ている。

さらに熟練工の存在も大きな調整が必要で、ここでは熟練工の手作業がモノをいう。このようにデジタルとアナログが絶妙にマッチしているからこそ、高い技術が実現しているのだ。「お客様に買っていただきたいのは金型ではなく満足である」とは同社のモットー。旺盛なサービス精神が技術力を高めてきたようだ。

本社・〒346-0004  
埼玉県久喜市南5-5-30  
TEL0480-21-0591  
<http://www.ikegami-mold.co.jp/>

# 岩手の金型で世界を目指す サービス精神溢れる研究者

## 岩手大学大学院 岩淵 明教授

前出の株式会社ベストをはじめ、岩手県北上地域には金型関連企業が集積している。これらの技術の高度化を目指し、北上市と岩手大学ではさまざまな研究事業を展開してきた。そして、03年に、北上市の寄附によって、岩手大学工学部付属金型技術研究センター(新技術応用展開部門)が開設された。これにより北上市内の産学官連携が活発になり、地元企業の新製品開発に弾みがついている。

この施設の初代センター長を務めたのが、岩手大学工学部機械工学科の岩淵明教授。機械工学(機械加工・機械材料・金型製造プロセス)を専門とし、とくに材料の摩耗、摩擦、潤滑を研究するトライボロジーの第一人者として知られる。

研究活動のほか大学と地元企業をつなげる活動にも積極的に取り組んでいる。

「大学はサービス業と考えると、顧客ニーズに対応することが大事。そして地域から世界に羽ばたくような研究や製品開発を目指したい」と話す岩淵教授。

IWATEが金型のメッカとして世界的に有名になってほしいものだ。



北上の金型産業の高度化を図る岩手大学工学部  
付属金型技術研究センター新技術応用展開部門



サービス精神と大きな夢を持つ  
岩淵教授

〒020-8551  
岩手県盛岡市上田4-3-5  
岩手大学工学部2号館 202室  
<http://www.mech.iwate-u.ac.jp/~iwabuchi/ai/index.html>

# 「ビジネスコーディネーター協会」2009年例会 開催!!

「ビジネスコーディネーター協会」2009年例会が開催された。メンバーたちは大学研究者、コンサルタント、自治体職員とさまざまだが、「地域やベンチャーを元気にしたい」という思いは同じ。それぞれが持つ豊富な経験とノウハウがさいたま市に集合した。

4月22日、「ビジネスコーディネーター協会」2009年例会が新都心ビジネス交流プラザ（さいたま市）で開催された。この協会は、大学研究者、会計人、コンサルタント、自治体職員、マスコミ人など、各地で活躍するさまざまなプロたちで構成されており、それぞれが地域活性化、産学官連携、企業再生などを手がけている。

また、メンバーたちの事例やノウハウの共有を目指し、定期的に例会や合宿を開催している。

今回は新都心イブニングサロンが開催されるさいたま市で開催。それぞれの近況や今後の活動について話し合った。また、特別ゲストとして（株）はせがわ会長、JNB会長の長谷川裕一氏と元中小企業基盤整備機構理事の田村朝彦氏が参加し、講演を行った。

なお、ビジネスコーディネーター協会では、既存会員からの推薦があれば入会することができる。入会費は無料（必要に応じて実費負担）。連絡は事務局まで yujinngs@yahoo.co.jp



イブニングサロンでもお馴染みの顔ぶれがそろった

## ●各地域幹事

- \*北海道・・・門脇武一（オホーツク・マルチメディア協会）
- \*東北・・・川村志厚（MIMINET）
- \*首都圏北部・・・野長瀬裕二（新都心イブニングサロン）
- \*首都圏中部・・・江原秀敏（コラボ産学官）
- \*首都圏南部・・・牟田口雄彦（海援隊21）
- \*静岡・中部・・・山田颯二（浜松テクノポリス推進機構）
- \*近畿・北陸・・・荒川守正（ATAC）
- \*中国・・・森 紀男（中国NBC）
- \*四国・・・田崎博司（田崎エンジニアリング）
- \*九州・沖縄・・・古賀光雄（トーマツベンチャーサポート）
- \*総括幹事・・・野長瀬裕二

## 埼玉県中小企業振興公社

73年に埼玉県内の中小企業の振興を目指して設立。中小企業の振興から人材育成、商業振興、セミナーなど幅広い活動を展開している。無料の経営相談もあるので、積極的に利用してみたいかがだろうか。詳細はサイトのカレンダーにて。

〒338-0001 埼玉県さいたま市中央区上落合2-3-2  
 新都心ビジネス交流プラザ3F  
 TEL:048-857-3901

## 耳寄り情報コーナー



<http://www.saitama-j.or.jp/>

# 野長瀬教授「モノづくり通信簿」に 武田レッグウェアが登場

イブニングサロンの世話人をつとめる野長瀬裕二・山形大学教授が企業診断を行う「モノづくり通信簿」が月刊「コロンプス」で好評連載中。これは、モノづくりで定評のある企業の工場や現場取材し、「成長意欲」「独自性」「営業努力」「モノづくり」「研究開発」「事業企画」「経営資源」「雇用創出」を採点。その上で、その企業の強み、逆境時の対処法なども聞き、総合的に企業を評価していくコーナー。この手法が読者に



「モノづくり」通信簿をつける野長瀬教授

好評で、「自社の改善点が見えた」「新しいビジネスヒントをつかんだ」といった声が編集部に届いている。

最新の月刊『コロンプス』4月号では、武田レッグウェア（埼玉県富士見市）の武田進社長が登場。武田社長は靴下メーカーに25年間勤務した後、82年に現在の会社を創業した。

しかし「その時点ですでに靴下の生産拠点の大半は中国に移っていたため、価格競争では勝ち目がなかった」という。そこで、武田社長は付加価値の高い靴下づくりに着手することに。ちょうど、その頃「ヨネックスからの依頼でスポーツソックスの生産を始めたこともあり、多くのスポーツ選手たちの声を聞いて回った。そして「人間の足はけっして対称ではないのに、

靴下はほとんど対称になっていない。これでは足が靴下にフィットせず、疲れやすくなるのではないかと感じるようになったという。

さっそく、武田社長は右足にフィットする右足専用ソックスを開発。これらはスポーツ選手たちから好評を得て、テニスプレイヤーの伊達公子選手やメジャーリーガーたちにも愛用されるまでになった。同社のソックスは、今ではヨネックスの売れ筋商品になっている。

一方で、武田社長は左右非対称で自社ブランドの「R×Lソックス」の開発にも力を入れてきた。すでに、さまざまなタイプ



武田進社長

## サロン公式サイトで「ニュース」公開中

第10回新都心イブニングサロンで創刊された「イブニングサロンニュース」は、新都心イブニングサロン公式サイトおよび発行事務局の東方通信社サイトにてアップされています。第12号までアップしていますので、ご覧下さい。

今後引き続き、さまざまな角度からニュースを発信していきたいと思っております。新商品や新技術の開発、ご意見・ご要望までお寄せください。

★イブニングサロン公式サイト  
<http://www.innovationpartners.jp/nonagase/evening.htm>  
 ★東方通信社サイト  
<http://www.tohopress.com>  
 問合せ：TEL03-3518-8844  
 e-mail：ryot@tohopress.com



## 月刊「コロンプス」が 元気企業を取材します!!

産業栽培誌・月刊『コロンプス』（東方通信社発行）には、野長瀬裕二教授の連載コーナーのほか、地元の元気企業を紹介するコーナーもあります。これまで、さいたま市産業創造財団の江田理事長（04年10月号）やNECパーソナルプロダクツの柴田執行役員（06年2月号）など、イブニングサロンの関係者・参加者たちの取材記事を多数掲載してきました。今後、取材を希望される方はご連絡ください。

問合せ TEL：03-3518-8844



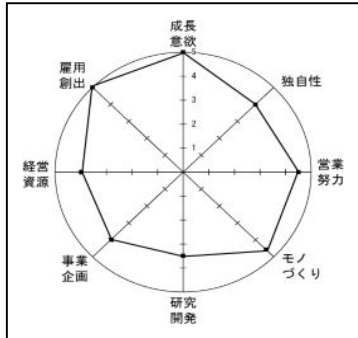
## ★イブニングサロンの主な世話人

江田元之（財）さいたま市産業創造財団・理事長／星野弘志 元埼玉県労働商工部新産業育成課・課長／村重嘉文（株）イーシティ埼玉・取締役会長／野長瀬裕二（学）山形大学大学院理工学研究科・教授／浜中真人・さいたま商工会議所産業企画部・次長

## ★主な企画運営委員

山田頼二（財）浜松地域テクノポリス推進機構・事業推進部長／江原秀敏 コラボ産学官・常任理事・事務局長／古川猛 月刊『コロンプス』編集長（東方通信社）／根津紀久雄 NPO法人北関東産官学研究会・理事長／柴田孝・米沢BNO副代表

## 武田レッグウェアの「産業栽培度」



の商品を取り揃えている。ちなみに、同社はすでに国内で6件の特許を取得しているほか、意匠登録なども行っている。最新作に関しては1足の靴下にナンバリング3つの特許技術が使用されているという。

今後「ウチもモノづくり通信簿をつけてほしい」という企業は、「コロンプス」編集部まで連絡を。

武田レッグウェア（株）  
 TEL049-251-4332  
<http://www.bigtoe-takeda.com/>